

Title	X線白内障ラットへのチオプロロニンの混濁抑制効果
Sub Title	
Author	粕谷, 美南子(Kasuya, Minako) 清水, 恵子(Shimizu, Keiko) 小林, 静子(Kobayashi, Shizuko) 石井, 康雄(Ishii, Yasuo) 酒井, 一夫(Sakai, Kazuo) 鈴木, 紀夫(Suzuki, Norio) 糸井, 素一(Itoi, Motokazu)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1990
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.35 (1990.) ,p.47- 47
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	抄録
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000035-0047

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

X線白内障ラットへのチオプロニンの混濁抑制効果

粕谷美南子*, 清水恵子*, 小林静子, 石井康雄*, 酒井一夫**,
鈴木紀夫**, 糸井素一***

放射線照射により誘発される白内障に対して, 含硫化合物(WR-77913)が抑制効果を示すという報告がある。私達も種々のSH製剤を使用し, ラットX線白内障への効果を検討している。ここではチオプロニンの効果について述べる。

ラット頭部に10 GyのX線を一回だけ照射すると, 28週後に全ラットの水晶体に混濁が認められた。しかし, X線照射2日後より20 mg/kgのチオプロニンを週3回腹腔内に投与し, 28週後に水晶体を観察すると外見上非投与群に比較し, 混濁が有意に抑制されていた。また, 水晶体混濁の生化学的パラメーター (Na^+/K^+ , Ca^{2+} , Non-protein-SH, Malondialdehyde etc.) もチオプロニン20 mg/kg連続投与が混濁を有意に抑制していることを示した。

しかし, WR-77913と同様にX線照射の防御効果をねらい, 30分前に250 m/kgのチオプロニンを一回だけ腹腔内に投与し同様に実験を行ったところ, 逆に混濁を促進する結果が得られた。白内障の予防, 抑制, 治療を期待してSH製剤を使用する際には, 投与量や投与開始時期に留意しなければならないことが示唆された。

本報告はあたらしい眼科6(12):1989—1861(1989)に発表。

* 白内障研究所

** 東大医学部放射線基礎医学教室

*** 京都府立医大眼科学教室